



メンテナンス


- [基本的なリセット \(1 ページ\)](#)
- [ネットワーク設定のリセット \(3 ページ\)](#)
- [ユーザとネットワークの設定のリセット \(4 ページ\)](#)
- [CTL ファイルの削除 \(4 ページ\)](#)
- [品質レポート ツール \(4 ページ\)](#)
- [音声品質のモニタリング \(5 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話のクリーニング \(6 ページ\)](#)



基本的なリセット

Cisco IP Phone の基本的なリセットを実行すると、電話機にエラーが発生している状態から復旧したり、各種の設定およびセキュリティ設定をリセットまたは復元したりすることができます。

次の表で、基本的なリセットの実行方法を説明します。電話機が起動した後は、これらのいずれかの操作で電話機をリセットできます。状況に応じて適切な操作を選択します。

表 1: 基本的なリセットの方法

操作	操作	説
電話機の再起動	[アプリケーション (Applications)]  を押します。[管理者設定 (Admin settings)] > [設定のリセット (Reset settings)] > [デバイス リセット (Reset device)] に移動します。	コ 語 セ

操作	操作	説明
設定のリセット	設定をリセットするには、[アプリケーション (Applications)]  を押し、[管理者設定 (Administrator Settings)] > [設定のリセット (Reset Settings)] > [ネットワーク (Network)] を選択します。	ユー リセ
	CTL ファイルをリセットするには、[アプリケーション (Applications)]  を押し、[管理者設定 (Administrator Settings)] > [設定のリセット (Reset Settings)] > [セキュリティ (Security)] を選択します。	CTL

電話のキーパッドを使用した、工場出荷時設定へのリセット

電話機を工場出荷時の設定にリセットできます。リセットにより、電話機のすべてのパラメータが消去されます。

手順

ステップ 1 電話機から電源を取り外すには、次のいずれかの方法を使用します。

- 電源アダプタを取り外します。
- LAN ケーブルを抜きます。

ステップ 2 5 秒間待ちます。

ステップ 3 [#] を押したままにし、電話機のプラグを再度差し込みます。[ヘッドセット] ボタンおよび [スピーカー] ボタンが点灯している場合にのみ [#] を放します。

(注) 一部のハードウェアバージョンでは、電話機のプラグを再度差し込んだときに、[ヘッドセット] ボタンおよび [スピーカー] ボタンと一緒に [ミュート] ボタンも点灯します。この場合は、すべてのボタンが消灯するのを待ち、[ヘッドセット] ボタンおよび [スピーカー] ボタンが再度点灯した場合にのみ [#] を放します。

ステップ 4 次のキー操作を入力します。

123456789*0#

[1] キーを押すと、[ヘッドセット] ボタンのライトがオフになります。キーシーケンスを入力した後、[ミュート (Mute)] ボタンが点灯します。


注意 工場出荷時の状態にリセットするプロセスが完了して、メイン画面が表示されるまで、電話機の電源を切らないでください。

電話機がリセットされます。

電話メニューからすべての設定のリセットを実行する

このタスクは、ユーザとネットワークのセットアップ設定をデフォルト値にリセットする場合に実行します。

手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ2 [管理者設定 (Administrator Settings)] > [設定のリセット (Reset Settings)] > [すべての設定 (All settings)] を選択します。

必要に応じて、電話機のオプションのロックを解除します。

バックアップイメージからの電話機の再起動

Cisco IP 電話には、デフォルトのイメージが危険にさらされたときに電話機を回復できる2つ目のバックアップイメージがあります。

バックアップイメージから電話機を再起動するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 電源モジュール ケーブルを取り外します。
- ステップ2 (アスタリスク キー) を押します。
- ステップ3 電源を再び接続します。 ミュート LED が消えるまでスターキーを押し続けます。
- ステップ4 スターキーを離します。
電話機がバックアップイメージから再起動します。

ネットワーク設定のリセット

ネットワーク設定をデフォルト値にリセットし、電話機をリセットします。この方法を実行すると、DHCP が電話機の IP アドレスを再設定します。

手順

- ステップ1 [管理者設定 (Admin Settings)] メニューから、必要に応じて、電話機のオプションのロックを解除します。

ステップ2 [設定のリセット (Reset Settings)] > [ネットワークのセットアップ (Network Setup)] を選択します。

ユーザとネットワークの設定のリセット

ユーザ設定およびネットワーク設定に変更を加えていても、電話機がフラッシュメモリに書き込んでいない場合は、以前に保存された設定にリセットされます。

手順

ステップ1 [管理者設定 (Admin Settings)] メニューから、必要に応じて、電話機のオプションのロックを解除します。

ステップ2 [設定のリセット (Reset Settings)] > [デバイスのリセット (Reset Device)] を選択します。

CTL ファイルの削除

電話機から CTL ファイルのみを削除します。

手順

ステップ1 [管理者設定 (Admin Settings)] メニューから、必要に応じて、電話機のオプションのロックを解除します。

ステップ2 [設定のリセット (Reset Settings)] > [セキュリティ設定 (Security Settings)] を選択します。

品質レポート ツール

品質レポートツール (QRT) は、Cisco IP 電話の音声品質と一般的な問題をレポートするツールです。QRT 機能は、Cisco Unified Communications Manager のインストレーションの一環としてインストールされます。

QRT を使用してユーザの Cisco IP 電話を設定できます。この設定により、ユーザは [品質のレポート (Report Quality)] を押すことによって、電話機のコールの問題を報告できるようになります。このソフトキーまたはボタンは、Cisco IP 電話が [接続時 (Connected)]、[接続時 (会議打診) (Connected Conference)]、[接続時 (転送打診) (Connected Transfer)]、または [オンフック (On Hook)] の状態のときにだけ使用できます。

ユーザが[品質のレポート (Report Quality)]を押すと、問題のカテゴリのリストが表示されます。ユーザが該当する問題カテゴリを選択すると、このフィードバックがXMLファイルに記録されます。実際に記録される情報は、ユーザがどのカテゴリを選択したか、また送信先のデバイスがCisco IP電話かどうかによって異なります。

QRTの使用の詳細については、ご使用のCisco Unified Communications Managerリリースのマニュアルを参照してください。

関連トピック

[Cisco Unified Communications Managerのマニュアル](#)

音声品質のモニタリング

ネットワーク内で送受信されるコールの音声品質を測定するために、Cisco IP電話では隠蔽イベントに基づく次の統計メトリックを使用します。DSPは、音声パケットストリーム内でフレーム損失の部分のマスクするために、隠蔽フレームを再生します。

- フレーム損失率のメトリック：音声フレームの総数に対する秘匿フレームの比率を示します。直近フレーム損失率は、3秒ごとに計算されます。
- フレーム損失発生秒数のメトリック：損失フレームが原因でDSPが秘匿フレームを処理する場合の処理秒数を示します。深刻な「フレーム損失発生秒数」は、DSPが5%を超える隠蔽フレームを処理する場合の秒数です。



(注) フレーム損失率とフレーム損失発生秒数は、フレーム損失に基づいた主要な測定値です。フレーム損失率がゼロの場合は、IPネットワークが損失なく時間どおりにフレームやパケットを配信していることを示しています。

Cisco IP電話から音声品質メトリックにアクセスするには、[コール統計 (Call Statistics)]画面を使用するか、または、リモートで[ストリーム統計 (Streaming Statistics)]画面を使用します。

音声品質のトラブルシューティングのヒント

メトリックに大幅な変化が継続的に見られた場合は、次の表の一般的なトラブルシューティング情報を使用してください。

表 2: 音声品質メトリックの変化

メトリックの変化	条件
フレーム損失率とフレーム損失発生秒数が大幅に増加した	パケット損失または高いジッターによるネットワーク障害。

メトリックの変化	条件
フレーム損失率はほとんどゼロであるが、音声品質が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> 音声チャンネルのノイズや歪み（エコーレベルやオーディオレベルなど）。 複数のエンコード/デコードが使用されているタンデムコール（セルラーネットワークや電話カードネットワークへのコールなど）。 スピーカーフォン、ハンドフリー携帯電話、またはワイヤレスヘッドセットなどから発生する音響問題。 <p>送信パケット（TxCnt）と受信パケット（RxCnt）のカウンタをチェックし、音声パケットが流れていることを確認します。</p>
MOS LQK スコアが著しく減少	<p>パケット損失または高いジッターレベルによるネットワーク障害。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均 MOS LQK の減少は、広範囲の画一的な障害を示している可能性があります。 個別の MOS LQK の減少は、集中的な障害を示している可能性があります。 <p>フレーム損失率とフレーム損失発生秒数を照合して、パケット損失やジッターがないか確認してください。</p>
MOS LQK スコアが著しく増加	<ul style="list-style-type: none"> 電話機が適切なコーデック（RxType および TxType）を使用しているかどうかを確認してください。 MOS LQK のバージョンがファームウェアアップグレード以降に変更されたかどうかを確認してください。



(注) 音声品質メトリックでは、ノイズや歪みは考慮されません。フレーム損失だけが考慮されません。

Cisco IP 電話のクリーニング

Cisco IP 電話をクリーニングする際は、必ず乾いた柔らかい布を使用して電話機と画面を軽く拭いてください。液体や粉末を電話機に直接付けないでください。すべての非耐候性の電子機器と同様に、液体や粉末はコンポーネントを損傷し、障害を引き起こすことがあります。

電話がスリープモードのとき、画面はブランクで、[選択]ボタンは点灯していません。電話がこの状態のとき、画面のクリーンアップを行うことができます。ただし、クリーンアップが完了するまで電話がスリープ状態になることがわかっている必要があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。